# 事業評価票（施設整備関係予算）

| 5 | 都立王子地区特別支援学校（仮称）（教育庁） | 整備着手 | 平成 25 年度 |
|---|---|---|---|

**施設整備計画概要（局計画）**

| 区分 | 所在 | 階数 | 延床面積 | 土地面積 |
|---|---|---|---|---|
| 現在地 | 北区十条台一丁目８番４１号、４７号 | 地上 3 階 地下 階 | 14,684 ㎡ | 20,519 ㎡ |
| 予定地 | 同上 | 地上 3 階 地下 階 | 17,681 ㎡ | 20,519 ㎡ |

・知的障害特別支援学校の在籍数の増加及び校舎の老朽化に対応するため、都立王子特別支援学校（築17年）と都立王子第二特別支援学校（築37年）とを統合し、都立王子特別支援学校（仮称）として再編する。【平成31年開設】

| ～23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 基本設計 | 基本設計<br>実施設計 | 実施設計 | 工事 | 工事 | 工事 |

**計画評価（土地･床関係）**

・本計画は、新たに土地を取得することなく現在地を有効活用して実施するものであり、財産運用上の問題はない。
・また、本工事では、現学校敷地内の別の場所に施設を建築するものであり、工事期間中に仮設建物等の建設用地は要さない。

〈コスト比較〉

| 計画の評価 | |
|---|---|
| 妥当 | 見直し |
| 見送り | その他 |
| 所要額［参考］（土地・床関係） | ― 百万円 |

**計画評価（建築技術関係）**

・築37年の施設は、経年劣化が著しく改築時期を迎えている。
・在籍者数の増加に対応するためには普通教室数を確保することが必要であり、増築することは妥当性が認められる。
・設計着手までに有効な工事車両の通路を確保する必要がある。
・しかし、増築に当たっては、敷地内の既存棟が近接していることなどから、慎重に建築計画を精査する必要がある。
・隣接する施設について、工事の騒音、振動等の影響について説明し、理解を得る必要がある。

〈建築コスト(参考)〉

・工事費　3,291百万円
・委託料　188百万円　計　3,479百万円

| 計画の評価 | |
|---|---|
| 妥当 | 見直し |
| 見送り | その他 |
| 所要額［参考］（建築ｺｽﾄ関係） | 3,479 百万円 |

**25年度見積（局評価）**

| 区分 | 所在 | 階数 | 延床面積 | 土地面積 |
|---|---|---|---|---|
| 現在地 | 北区十条台一丁目８番４１号、４７号 | 地上 3 階 地下 階 | 14,684 ㎡ | 20,519 ㎡ |
| 予定地 | 同上 | 地上 3 階 地下 階 | 17,681 ㎡ | 20,519 ㎡ |

・当初計画に基づいて経費を見積り、平成25年度は基本設計費を計上する。
・工事車両の通路については、必要な検討及び関係機関等との調整を行い、確保する。
・工事の影響についても、隣接施設の理解を得られるよう協議を行う。

| 全体事業費 | 3,557 百万円 | 25年度見積額 | 22 百万円 | 24年度予算額 | ― 百万円 |
|---|---|---|---|---|---|

| ～23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 基本設計 | 基本設計<br>実施設計 | 実施設計 | 工事 | 工事 | 工事 |

**25年度見積への財務局評価**

・知的障害特別支援学校の在籍者数の増加及び現施設の老朽化に対応するための改築は妥当であり、見積額のとおり計上する。
・引き続き隣接施設と調整した上で、建築計画等の諸条件の精査を要する。

| 妥当 | 見直し |
|---|---|
| 見送り | その他 |
| 25年度予算額 | 22 百万円 |